magicolor ® 7450
Windows Vista
プリンタドライバ
ユーザーズガイド

4039-99V5-00

登録商標および商標

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。magicolor および PageScope は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の商標および登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へもコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

Copyright © 2008 by KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC. All Rights Reserved.

著作権について

本書の著作権はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社に帰属します。書面によるコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

Copyright © 2008 by KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC., Marunouchi Center Building, 1-6-1 Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo, 100-0005, Japan. All Rights Reserved.

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

もくじ

プリンタドライバについて

インストールを行う場合は、必ずプリンタファームウェアをアップデートしてください。

PostScript ドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ Windows Vista (32bit) Windows Vista (64bit)	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「PostScript ドライバの設定」（p.12）をごらんください。

PCL ドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ Windows Vista (32bit) Windows Vista (64bit)	給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの機能を設定できます。 詳しくは、「PCL ドライバの設定」（p.31）をごらんください。

必要なシステム

- コンピュータ：
  - Pentium 2：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Pentium 3：500 MHz 以上を推奨）
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise
  - 64bit
    Microsoft Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition
- 空きハードディスク容量：
  - 約 20 MB（プリンタドライバとステータスモニタ）
  - 約 128 MB（画像処理）
- メモリ：
  OS が推奨する以上の RAM
- CD-ROM/DVD ドライブ
- インターフェース：
  - 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0（High Speed）準拠インターフェースポート
  - パラレル（IEEE 1284）ポート

USB で接続の場合、本機とコンピュータを接続してから本機の電源をオンにし、インストールを行ってください。

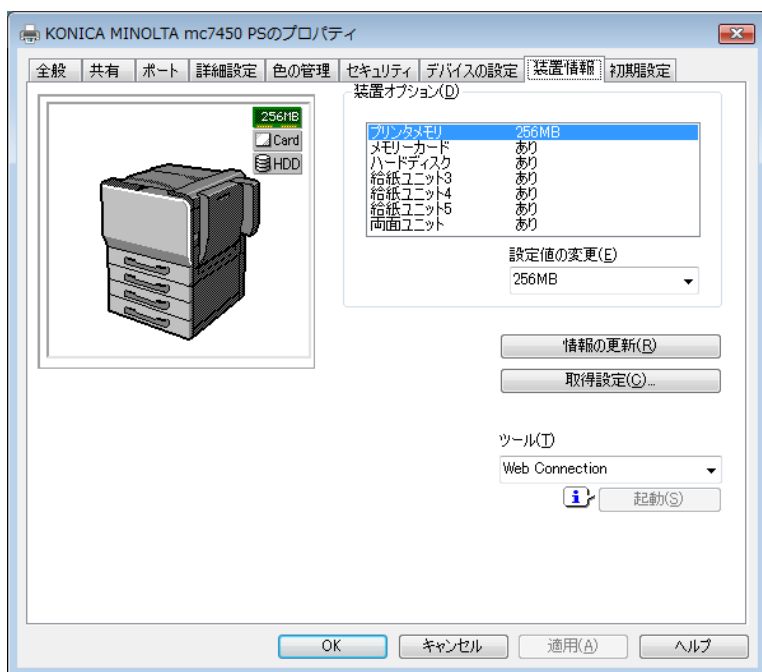
プリンタドライバの初期設定／オプションの設定

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

1 以下の手順でプリンタドライバの設定画面を表示します。

［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。「KONICA MINOLTA mc7450 PS 」または「KONICA MINOLTA mc7450 PCL」プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3「装置情報」タブをクリックします。

4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 8 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 5 に進んでください。

5 ［情報の更新］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

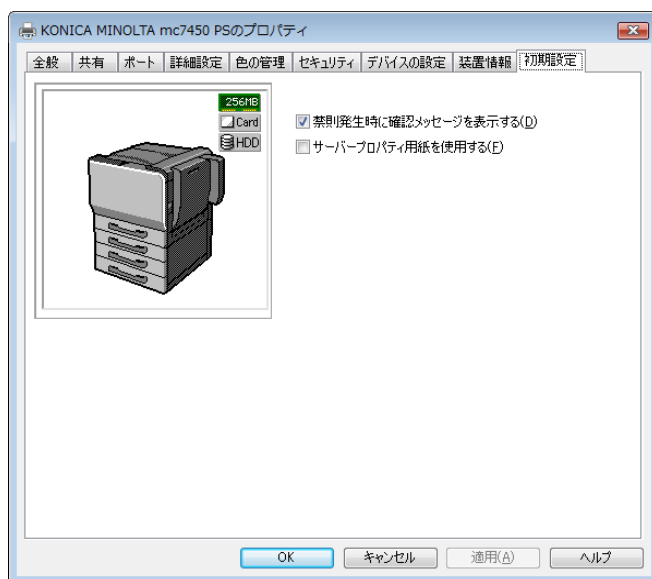
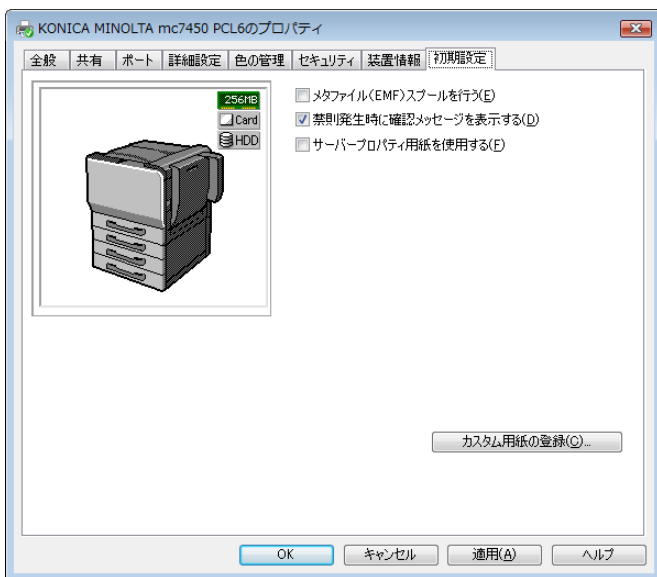
［情報の更新］は本プリンタとの双方向通信が行なわれている場合にのみ使用できます。［情報の更新］が使用できない場合は、手順 6、7 を行ってください。

6 「装置オプション」リストから、オプションを一つずつ選択して、「設定値の変更」メニューから「あり」または、「なし」を選択します。

「装着オプション」リストには「メモリーカード」が表示されますが、本機はコンパクトフラッシュ（CF）には対応していません。「あり」を設定しても無効になりますのでご注意ください。

「プリンタメモリ」を選択した場合は、装着しているメモリに応じて「256 MB」、「512 MB」、「768 MB」、「1024 MB」から一つ選択します。工場出荷時は「256 MB」に設定されています。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

8 「初期設定」タブをクリックします。

9 必要な項目を設定し、[適用]をクリックします。

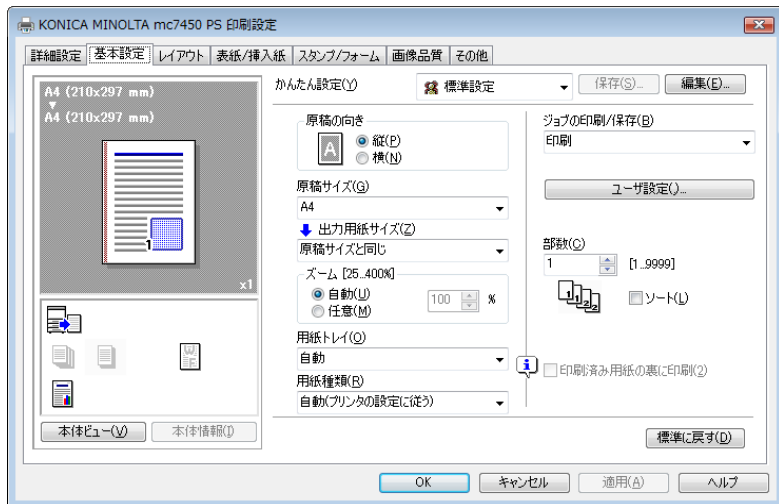
– 禁則発生時に確認メッセージを表示する:
  チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。

– サーバープロパティ用紙を使用する:
  チェックすると、サーバープロパティの用紙リストの中から対象プリンタで利用可能なサイズが基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。

– メタファイル(EMF)スプールを行う(PCL ドライバのみ):
  独自のシステムで使用する場合などでメタファイル(EMF)スプールが必要な場合にチェックします。

– カスタム用紙の登録(PCL ドライバのみ):
  カスタム用紙を登録すると、登録した名称で基本設定タブの原稿サイズリストに追加されます。

10「全般」タブをクリックします。

11 ［印刷設定］をクリックします。
印刷設定画面が表示されます。

12 使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を変更します。

各タブの設定項目については、「PostScript ドライバの設定」（p.12）、「PCL ドライバの設定」（p.31）をごらんください。

13 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

14 ［OK］をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

15 ［OK］をクリックし、プリンタの設定画面を閉じます。

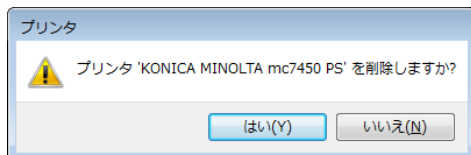
プリンタドライバのアンインストール

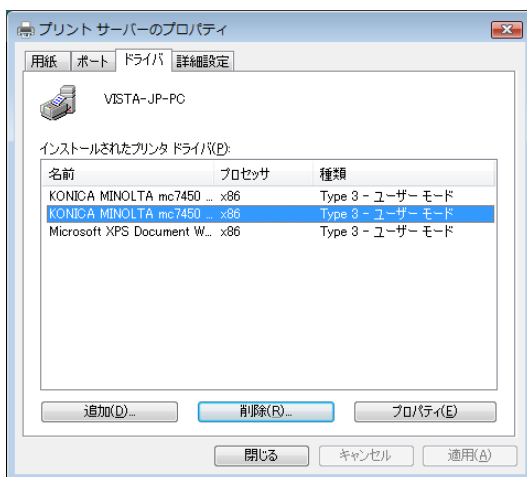
ここでは、プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

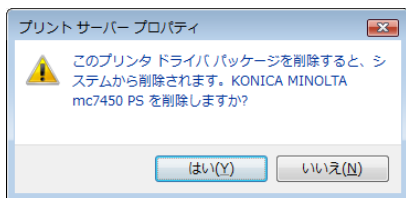
1 開いているアプリケーションを全て閉じます。

2 [スタート] メニューから「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「プリンタ」をクリックします。

3 「KONICA MINOLTA mc7450 PS」または「KONICA MINOLTA mc7450 PCL6」プリンタアイコンを右クリックし、「削除」を選択します。

4 プリンタ画面が表示されたら、[はい] をクリックします。

5 右クリックし、「サーバーのプロパティ」を選択します。
- 警告メッセージが表示されますが、[続行] をクリックしてください。

6 「ドライバ」タブを選択し、プリンタドライバのリストから「KONICA MINOLTA mc7450 PCL6」プリンタアイコンを選択し、[削除] をクリックします。
- 「ドライバとドライバパッケージを削除する」の画面が表示されたら、[はい] をクリックしてください。

7 [削除] をクリックします。

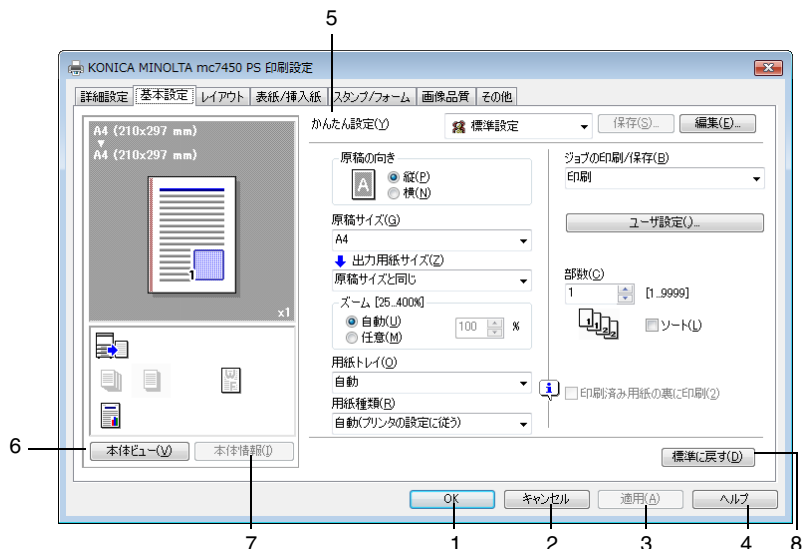
8 プリントサーバープロパティ画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

9 [閉じる]をクリックします。

10 コンピュータを再起動します。

プリンタドライバがコンピュータからアンインストールされます。

PostScript ドライバの設定

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」－「ハードウェアとサウンド」－「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc7450 PS 」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

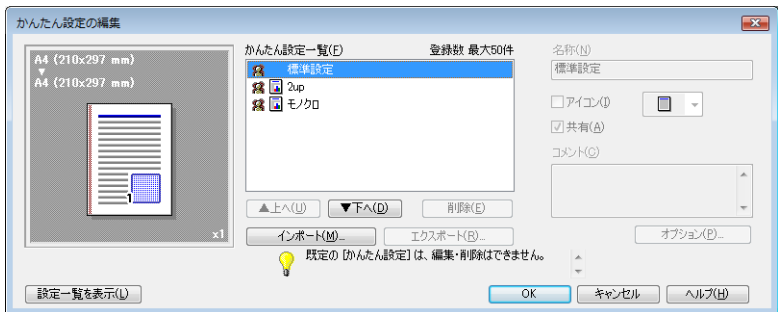
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. かんたん設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、「アイコン」チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は、「共有」チェックボックスにチェックします。[OK] をクリックすると、現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

また、［編集］をクリックすると、かんたん設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

6. 本体ビュー／用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、［本体ビュー］ボタンが表示されます。［本体ビュー］をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
プリンタの外観図が表示されている場合は、［用紙ビュー］ボタンが表示されます。［用紙ビュー］をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「画像品質」タブでは、［画像品質ビュー］ボタンが表示されます。（［用紙ビュー］ボタンは表示されません。）［画像品質ビュー］をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

7. 本体情報

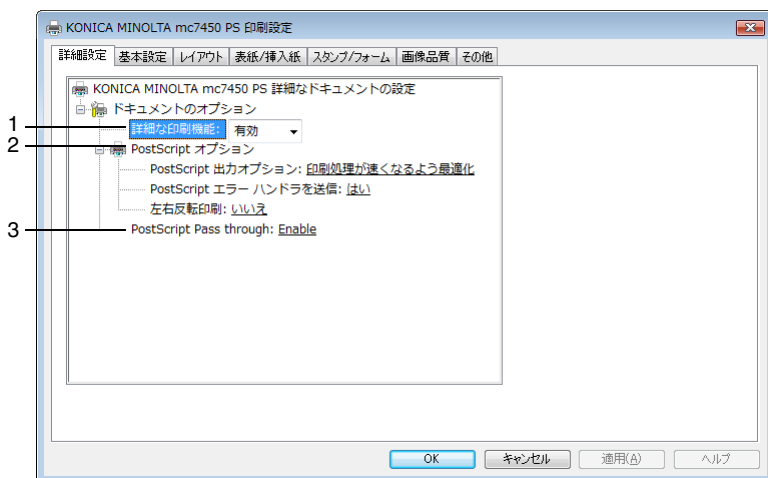
このボタンをクリックすると、PageScope Web Connection が起動します。

このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

8. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

このボタンは、「詳細設定」タブには表示されません。

「詳細設定」タブ

1. 詳細な印刷機能

詳細な印刷機能（小冊子）の設定を有効にするか、無効にするかを選択します。

本設定は、プリンタアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して表示するプロパティ画面で、「詳細設定」タブにある「詳細な印刷機能を有効にする」チェックボックスがチェックされている場合に表示されます。

2. PostScript オプション

PostScript 出力オプション：PostScript ファイルの出力形式を設定します。

PostScript エラーハンドラを送信：PostScript エラーが発生した場合に、レポートを印刷するかしないかを設定します。

左右反転印刷：左右反転印刷を行うか行わないかを設定します。

3. PostScript Pass through

アプリケーションがプリンタドライバを利用せずに直接印刷できるようにするかどうかを設定します。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。

3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。

4. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
本体の用紙メニューのトレイ 1 で設定している用紙サイズ／種類以外の用紙のドキュメントを印刷する際は、「トレイ 1（手差し）」を選択し、印刷指示をした後に、手差しトレイに用紙がセットされていることを確認後、操作パネルの△キーを押して印刷を行ってください。トレイ 1 で設定している用紙以外の用紙を用いて「トレイ 1」で印刷を行うと、たとえ正しいサイズの用紙をセットしていても印字位置がずれ、排紙部で紙づまりの可能性があります。

6. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. ジョブの印刷／保存

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。
本設定はオプションのハードディスクキットを装着している場合のみ有効です。
印刷：通常の印刷を行います。
保存：ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。
保存＆印刷：通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。
機密印刷：プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。「機密印刷」ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。
「機密印刷」で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。

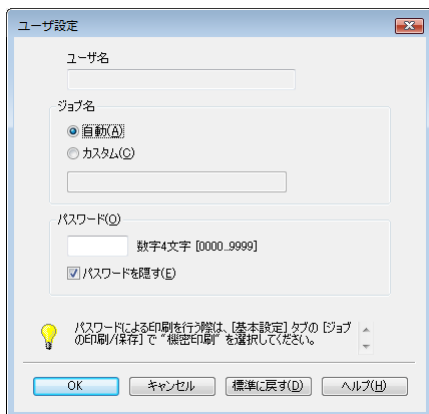
「機密印刷」を選択すると、ユーザ設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。

パスワードがすでに設定されている場合は、「機密印刷」を選択してもユーザ設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行う場合は、［ユーザ設定］から行ってください。

試し印刷：1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。

電源をオフ／オンすると、「保存」ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

8. ユーザ設定

［ユーザ設定］をクリックすると、ユーザ設定画面が表示されます。ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定などを行います。

9. 部数

印刷する部数を設定します。

「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

「ソート」はオプションのハードディスクキットを装着している場合に有効です。

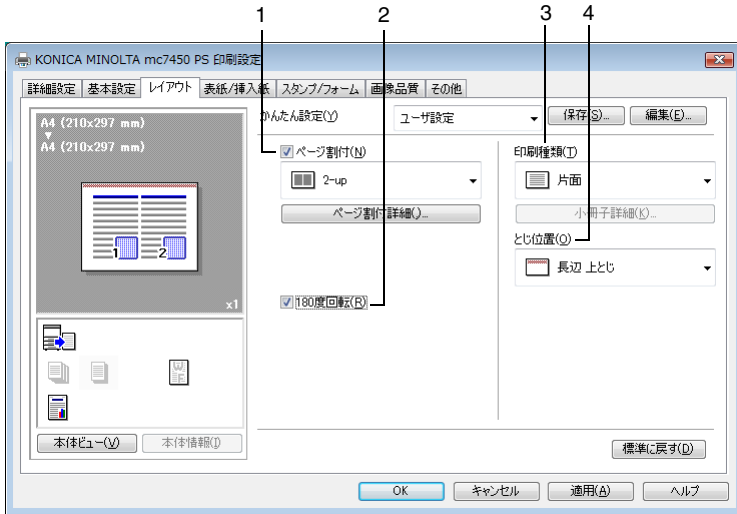
10. 印刷済み用紙の裏に印刷

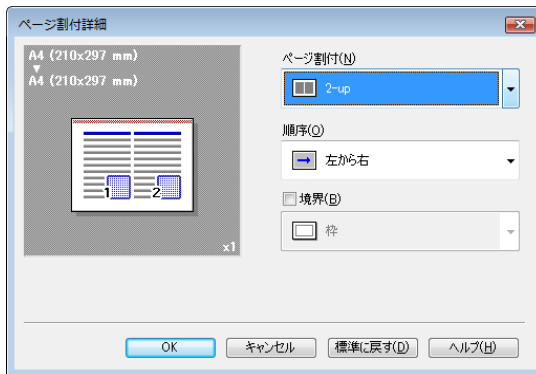
一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。
本設定は、「用紙トレイ」を「トレイ 1（手差し）」、「トレイ 1」、「トレイ 2」に設定した場合に有効です。

本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

以下の用紙は使用しないでください。

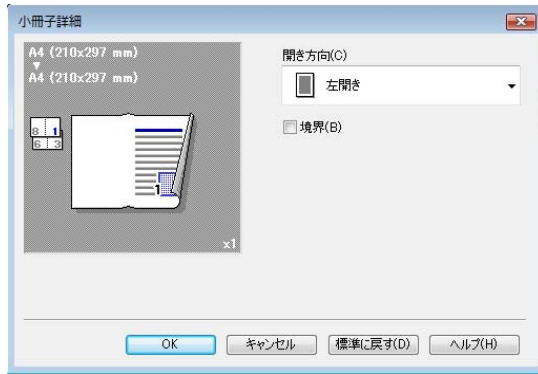
- インクジェットプリンタで印刷された用紙
- モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
- 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「ページ割付」チェックボックスをチェックすると、［ページ割付詳細］ボタンが有効になります。
［ページ割付詳細］をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

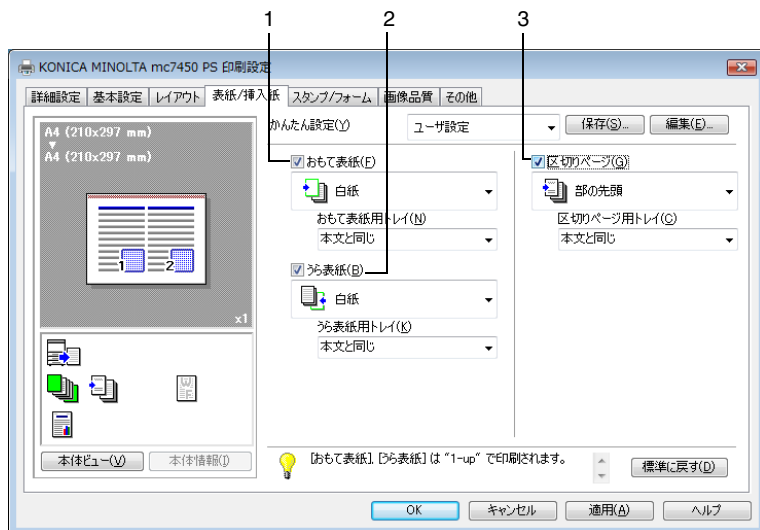
3. 印刷種類

印刷種類を「片面」、「両面」、「小冊子」から選択します。
「小冊子」を選択すると、[小冊子詳細] ボタンが有効になります。[小冊子詳細] をクリックすると、小冊子詳細画面が表示され、開き方向や境界線の有無を設定します。

「小冊子」は、「詳細設定」タブの「詳細な印刷機能」が「有効」に設定されている場合に有効です。

4. とじ位置

とじ位置を「長辺上とじ」、「長辺下とじ」、「短辺左とじ」、「短辺右とじ」から選択して設定します。

原稿の向きにより、設定値は、「長辺左とじ」、「長辺右とじ」、「短辺上とじ」、「短辺下とじ」となります。

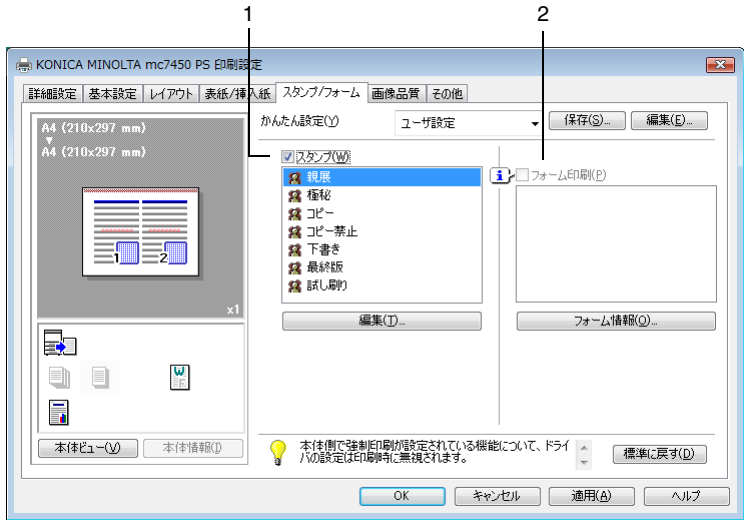
「表紙／挿入紙」タブ

1. おもて表紙

「おもて表紙」チェックボックスをチェックすると、表表紙をつけて印刷します。また、「おもて表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

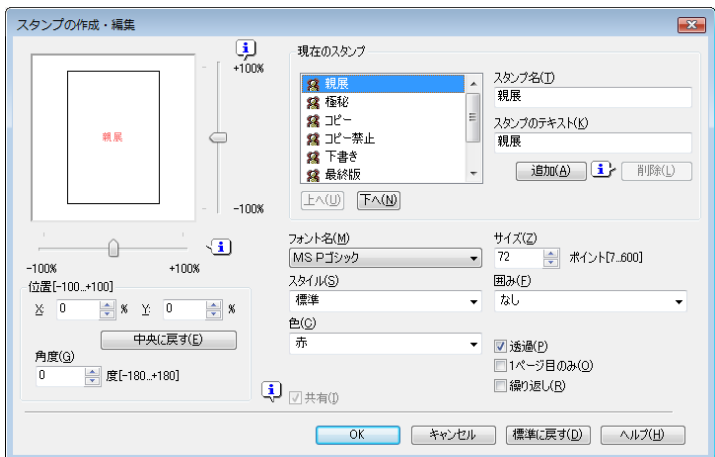
2. うら表紙

「うら表紙」チェックボックスをチェックすると、裏表紙をつけて印刷します。また、「うら表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

3. 区切りページ

一部ごとに挿入紙をつけるかどうかを設定します。
「区切りページ」チェックボックスをチェックし、「部の先頭」「部の末尾」から選択します。
また、「区切りページ用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

「スタンプ／フォーム」タブ

1. スタンプ

印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷します。
「スタンプ」チェックボックスをチェックすると、[編集] ボタンが有効になります。
[編集] をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。
スタンプの作成・編集画面で [追加] をクリックすると、新たにスタンプを作成します。

作成したスタンプは「スタンプ／フォーム」タブおよびスタンプ・編集画面のリストに追加されます。
リストに追加したスタンプを編集する場合は、スタンプの作成・編集画面で、編集したいスタンプを選択し、編集します。
リストに追加したスタンプを削除する場合は、スタンプの作成・編集画面で、削除したいスタンプを選択し、［削除］をクリックします。

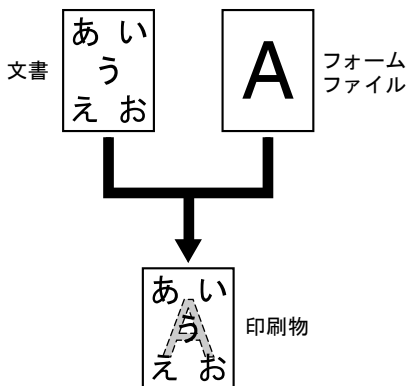
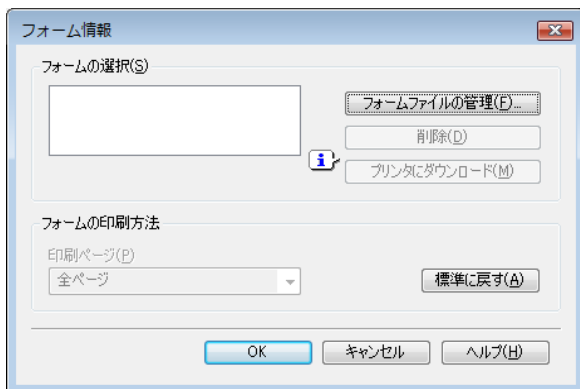
■ 透過
「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

■ 1 ページのみ
「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

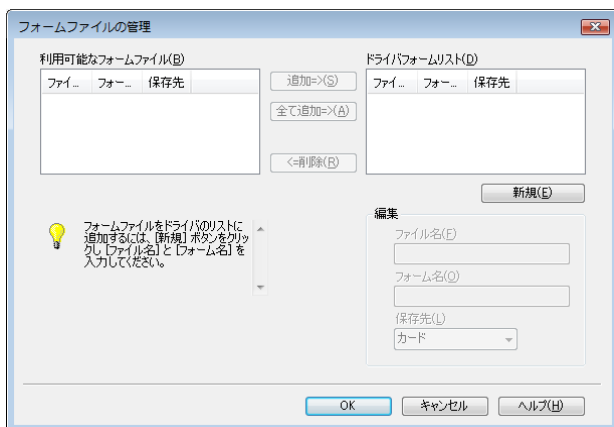
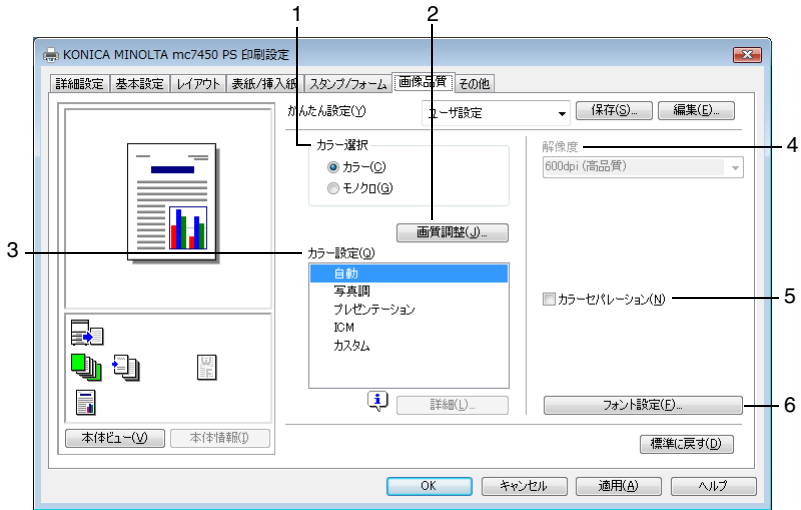
■ 繰り返し
「繰り返し」チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

2. フォーム印刷

印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷を行います。
「フォーム印刷」チェックボックスをチェックすると、フォーム印刷が有効になります。

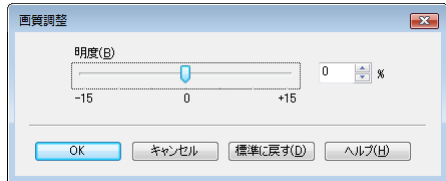
必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

［フォーム情報］をクリックすると、フォーム情報画面が表示されます。

追加したフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。
ダウンロードマネージャをインストールしている場合、［プリンタにダウンロード］ボタンが有効になります。

PostScript ドライバでフォームを印刷する場合、あらかじめプリンタにフォームファイルをダウンロードしておく必要があります。

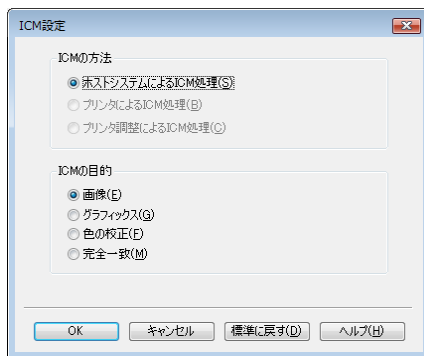
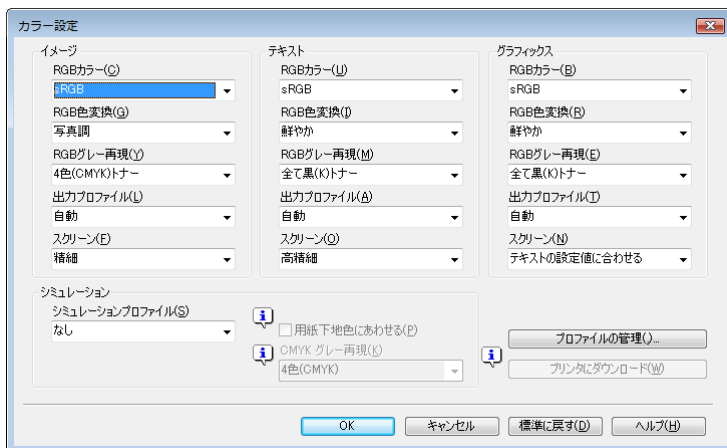
フォームを印刷するページを設定する場合は、「印刷ページ」で「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択します。
フォーム情報画面で［フォームファイルの管理］をクリックすると、フォームファイルの管理画面が表示されます。［新規］をクリックして、新たに追加するフォームファイルの設定を行います。
追加したフォームファイルは、「スタンプ／フォーム」タブまたはフォーム情報画面のリストに追加されます。

「画像品質」タブ

1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

2. 画質調整

［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）を設定します。

3. カラー設定

プリンタのカラー設定を「自動」、「写真調」、「プレゼンテーション」、「ICM」、「カスタム」から選択して設定します。
「写真調」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。
「ICM」を選択すると、Windows の ICM を使用してカラー設定を行います。
「ICM」を選択した場合、［詳細］ボタンが有効になります。

［詳細］をクリックすると、ICM 設定画面が表示されます。ICM の印刷方法や、目的を設定します。

「カスタム」を選択すると、［詳細］ボタンが有効になります。［詳細］をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト（イメージ、テキスト、グラフィックス）のカラー再現についての設定や、プロファイルの管理ができます。

■ RGB カラー
イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。プリンタが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

- RGB 色変換
  イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
  プリンタで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

- RGB グレー再現
  プリンタで処理するイメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。

- 出力プロファイル
  出力プロファイルに関して指定します。

- スクリーン
  イメージ／テキスト／グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

- シミュレーションプロファイル
  インクシミュレーション、デバイスシミュレーション等に使用する、シミュレーションプロファイルを指定することができます。

- 用紙下地色にあわせる
  シミュレーション実施時の色変換特性を指定します。

- CMYK グレー再現
  シミュレーション実施時の CMYK 入力データ中の黒色とグレーの維持方法を指定します。

- プロファイルの管理
  「カラープロファイルの管理」ダイアログ ボックスを表示します。

- プリンタにダウンロード
  ダウンロードマネージャがインストールされている場合に起動します。ダウンロードマネージャのインストール方法については、「インストレーションガイド」（Utilities and Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

4. 解像度

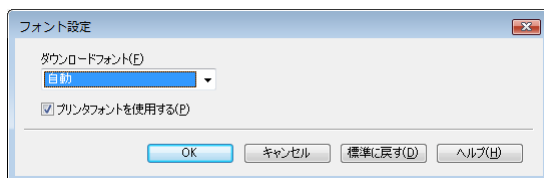
解像度 600dpi、4bit 多値のスクリーンで印刷します。本プリンタでは設定変更できません。

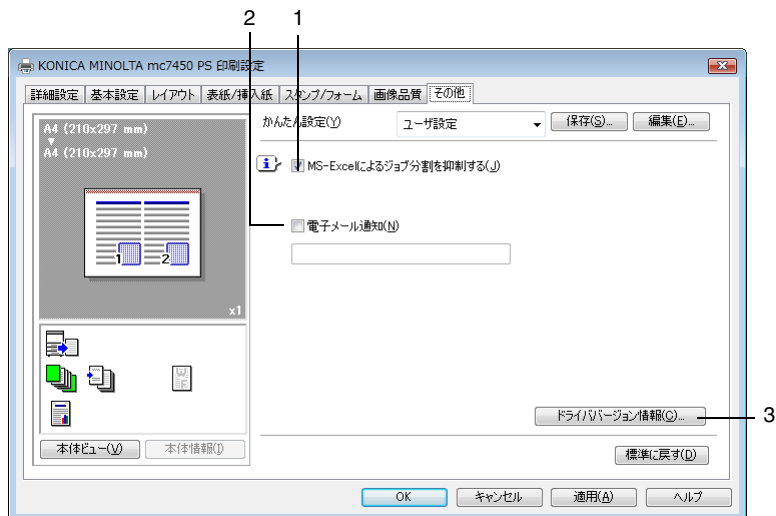
5. カラーセパレーション

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。
「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

6. フォント設定

フォントについての設定をします。

［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法と、印刷時に True Type フォントをプリンタフォントに置き換えるかどうかを設定します。

「その他」タブ

1. MS-Excel によるジョブ分割を抑制する

MS-Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷しようとする場合に、シートごとに別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制するかどうかを設定します。

2. 電子メール通知

「電子メール通知」チェックボックスをチェックし、送信先のアドレスを設定すると、印刷終了時に印刷が正常に完了したことを電子メールで通知します。

3. ドライババージョン情報

［ドライババージョン情報］をクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

PCL ドライバの設定

1 ［スタート］メニューから「コントロールパネル」—「ハードウェアとサウンド」—「プリンタ」をクリックし、プリンタ画面を表示します。

2 「KONICA MINOLTA mc7450 PCL6 」プリンタアイコンを右クリックし、「印刷設定」をクリックします。

各タブで共通のボタン

1. OK

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を有効にして画面を閉じます。

2. キャンセル

このボタンをクリックすると、変更した設定内容を無効（キャンセル）にして画面を閉じます。

3. 適用

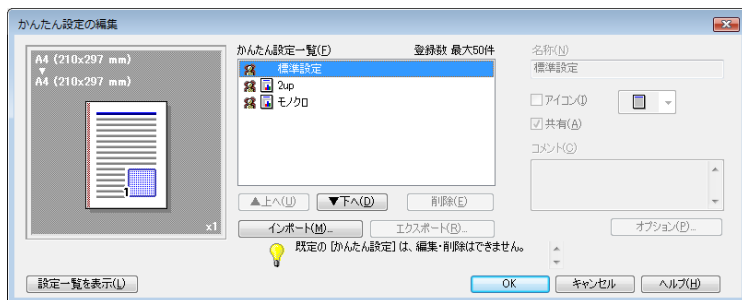
このボタンをクリックすると、画面を閉じずに、変更した設定内容を有効にします。

4. ヘルプ

このボタンをクリックすると、ヘルプが表示されます。

5. かんたん設定

現在の設定を保存する機能です。任意の設定を行い、［保存］をクリックすると右の画面が表示されます。名称、コメントを入力します。アイコンを設定する場合は、「アイコン」チェックボックスをチェックし、アイコンを選択します。保存する設定を共有にする場合は、「共有」チェックボックスにチェックします。[OK] をクリックすると、現在の設定が保存されます。保存した設定はドロップダウンリストから選択して呼び出すことができます。

また、［編集］をクリックすると、かんたん設定の編集画面が表示されます。保存した設定の編集ができます。

ドロップダウンリストで「標準設定」を選ぶと、設定が初期設定値に戻ります。

6. 本体ビュー／用紙ビュー

プリントレイアウトのサンプルが表示されている場合は、[本体ビュー] ボタンが表示されます。[本体ビュー] をクリックすると、プリンタの外観図が表示されます。表示される外観図はオプションの装着状態を反映します。
プリンタの外観図が表示されている場合は、[用紙ビュー] ボタンが表示されます。[用紙ビュー] をクリックすると、プリントレイアウトのサンプルが表示されます。
「画像品質」タブでは、[画像品質ビュー] ボタンが表示されます。([用紙ビュー] ボタンは表示されません。) [画像品質ビュー] をクリックすると、「画像品質」タブの設定を反映したサンプルが表示されます。

7. 本体情報

このボタンをクリックすると、PageScope Web Connection が起動します。

このボタンは、ネットワーク接続の場合のみ有効になります。

8. 標準に戻す

このボタンをクリックすると、各タブ内の設定が標準設定に戻ります。

「基本設定」タブ

1. 原稿の向き

印刷の向きを「縦」または、「横」から選択して設定します。

2. 原稿サイズ

印刷するデータの文書サイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
原稿のサイズを設定します。

3. 出力用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。
「カスタムサイズ」を選択すると、カスタムサイズ設定画面が表示されます。
用紙のサイズを設定します。

4. ズーム

印刷倍率を設定します。
印刷倍率を手動で変更する場合は、「任意」チェックボックスをチェックし、25%から 400%の間で設定します。

5. 用紙トレイ

印刷に使用する給紙トレイを選択します。
本体の用紙メニューのトレイ 1 で設定している用紙サイズ／種類以外の用紙のドキュメントを印刷する際は、「トレイ 1（手差し）」を選択し、印刷指示をした後に、手差しトレイに用紙がセットされていることを確認後、操作パネルの△キーを押して印刷を行ってください。トレイ 1 で設定している用紙以外の用紙を用いて「トレイ 1」で印刷を行うと、たとえ正しいサイズの用紙をセットしていても印字位置がずれ、排紙部で紙づまりの可能性があります。

6. 用紙種類

印刷に使用する用紙種類を選択します。

7. ジョブの印刷／保存

ハードディスクにプリントジョブを保存するなど出力方法を設定します。
本設定はオプションのハードディスクキットを装着している場合のみ有効です。
印刷：通常の印刷を行います。
保存：ハードディスクにプリントジョブを保存します。印刷は行いません。
保存＆印刷：通常の印刷を行い、ハードディスクへの保存も行います。
機密印刷：プリントジョブをハードディスクにパスワードを設定して保存します。「機密印刷」ジョブを印刷すると、機密印刷ジョブはハードディスクから削除されます。
「機密印刷」で保存したジョブの印刷時は、操作パネルからパスワードの入力が必要です。

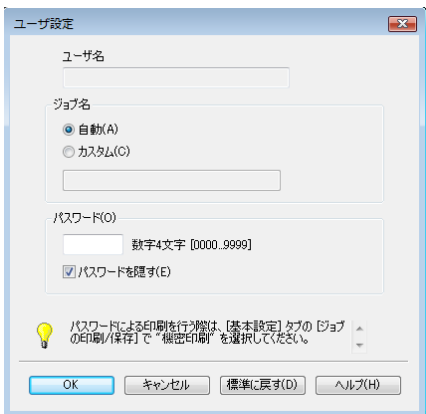
「機密印刷」を選択すると、ユーザ設定画面が表示されます。印刷時に使用するパスワードを設定します。

パスワードがすでに設定されている場合は、「機密印刷」を選択してもユーザ設定画面は表示されません。あらためてパスワードの設定を行う場合は、[ユーザ設定] から行ってください。

試し印刷：1 部のみ印刷を行い、ハードディスクへジョブを保存します。

電源をオフ／オンすると、「保存」ジョブ以外のジョブはハードディスクから削除されます。

8. ユーザ設定

ジョブ名や、機密印刷時のパスワードの設定などを行います。
[ユーザ設定] をクリックすると、ユーザ設定画面が表示されます。

9. 部数

印刷する部数を設定します。
「ソート」チェックボックスにチェックすると部単位で印刷を行います。

「ソート」はオプションのハードディスクキットを装着している場合に有効です。

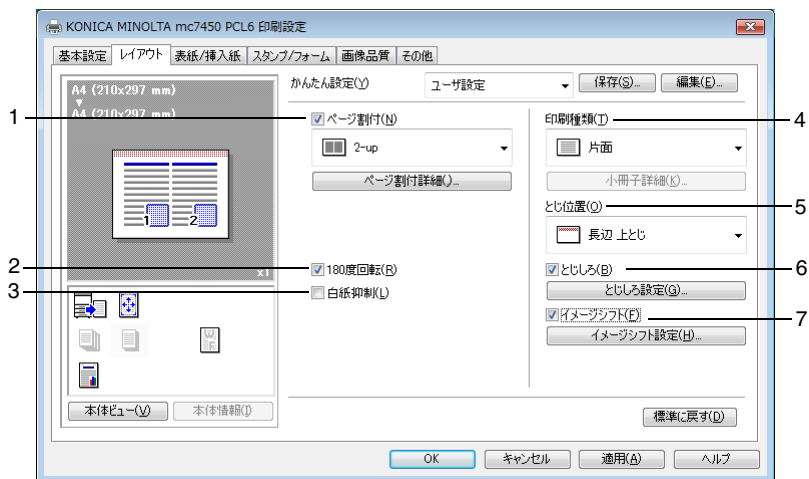
10. 印刷済み用紙の裏に印刷

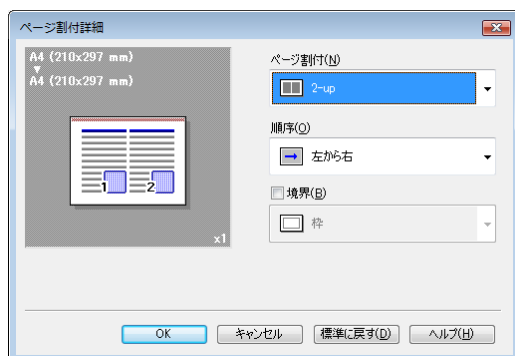
一度印刷した用紙の裏面に印刷するかどうかを設定します。
本設定は、「用紙トレイ」を「トレイ 1（手差し）」、「トレイ 1」、「トレイ 2」に設定した場合に有効です。

本機で印刷した用紙の裏面をご使用ください。なお、本設定での印刷結果は保証対象外となります。

以下の用紙は使用しないでください。

- インクジェットプリンタで印刷された用紙
- モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
- 他のプリンタやファクス機で印刷された用紙

「レイアウト」タブ

1. ページ割付

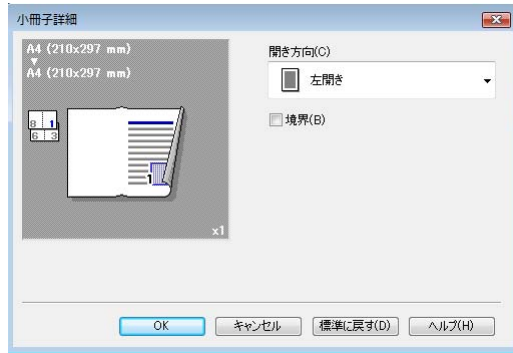
ページ割付は複数ページの文書を 1 ページにまとめて印刷します。
「ページ割付」チェックボックスをチェックすると、[ページ割付詳細] ボタンが有効になります。
[ページ割付詳細] をクリックすると、ページ割付詳細画面が表示されます。用紙内でのページの並べ方や、ページごとの境界線の有無を選択します。

2. 180 度回転

「180 度回転」チェックボックスをチェックすると、印刷する画像が 180 度回転して印刷されます。

3. 白紙抑制

印刷する文書内に白紙がある場合、白紙を出力するかしないかを設定します。

4. 印刷種類

印刷種類を「片面」、「両面」、「小冊子」から選択します。
「小冊子」を選択すると、[小冊子詳細] ボタンが有効になります。[小冊子詳細] をクリックすると、小冊子詳細画面が表示され、開き方向や境界線の有無を設定します。

「小冊子」は、「詳細設定」タブの「詳細な印刷機能」が「有効」に設定されている場合に有効です。

5. とじ位置

とじ位置を「長辺上とじ」、「長辺下とじ」、「短辺左とじ」、「短辺右とじ」から選択して設定します。

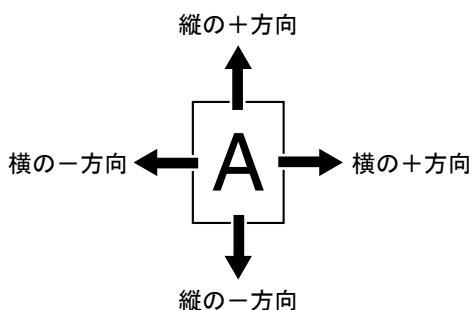
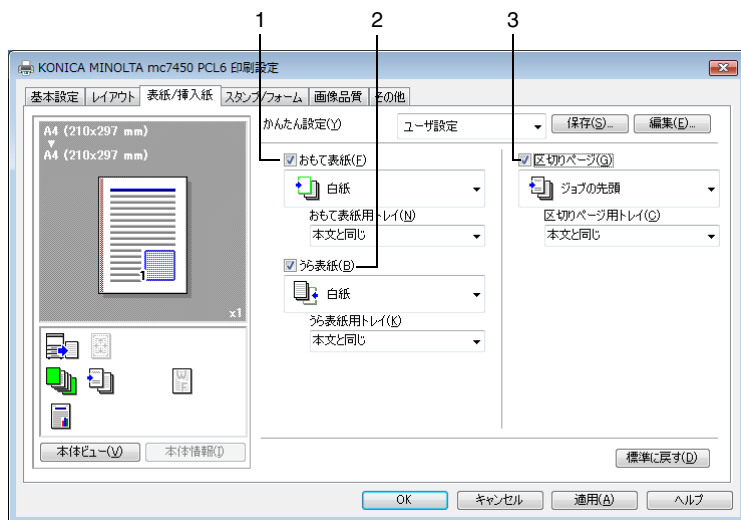
原稿の向きにより、設定値は、「長辺左とじ」、「長辺右とじ」、「短辺上とじ」、「短辺下とじ」となります。

6. とじしろ

とじしろの有無を設定します。
「とじしろ」チェックボックスをチェックすると、[とじしろ設定] ボタンが有効になります。
[とじしろ設定] をクリックすると、とじしろ設定画面が表示されます。とじしろを付けるときの画像のずらし方、おもて面やうら面のとじしろ量を設定します。

7. イメージシフト

用紙に印刷される文書の位置を設定します。
「イメージシフト」チェックボックスをチェックすると、[イメージシフト設定]ボタンが有効になります。[イメージシフト設定]をクリックすると、イメージシフト設定画面が表示されます。文書の印刷位置を0.1 ミリ単位または、0.01 インチ単位で設定します。

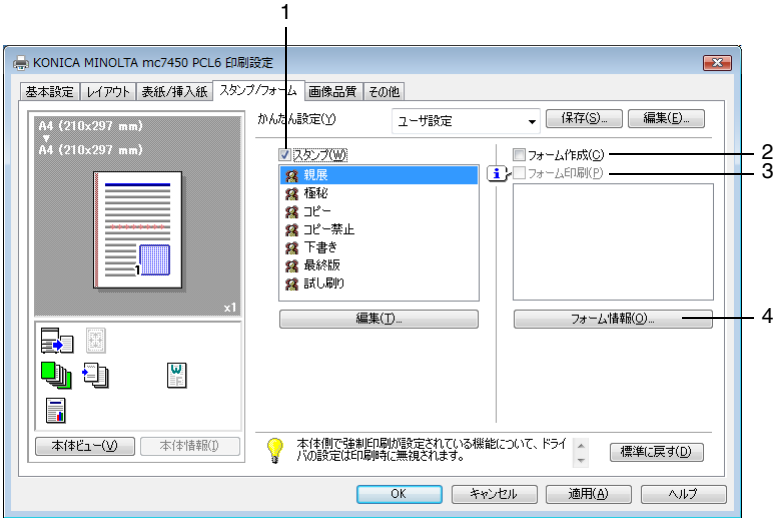
右図を参照してプリント位置を設定してください。

「表紙／挿入紙」タブ

1. おもて表紙

「おもて表紙」チェックボックスをチェックすると、表表紙をつけて印刷します。また、「おもて表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

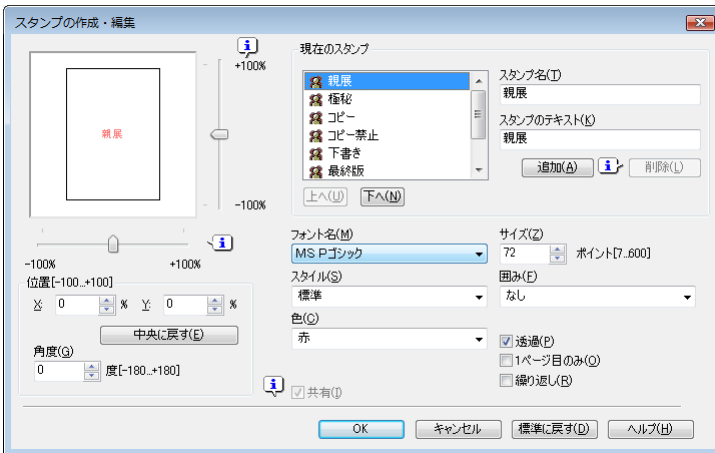
2. うら表紙

「うら表紙」チェックボックスをチェックすると、裏表紙をつけて印刷します。また、「うら表紙用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

3. 区切りページ

一部ごとに挿入紙をつけるかどうかを設定します。
「区切りページ」チェックボックスをチェックし、「ジョブの先頭」「ジョブの末尾」から選択します。
また、「区切りページ用トレイ」でどのトレイの用紙を使用するかを設定します。

「スタンプ／フォーム」タブ

1. スタンプ

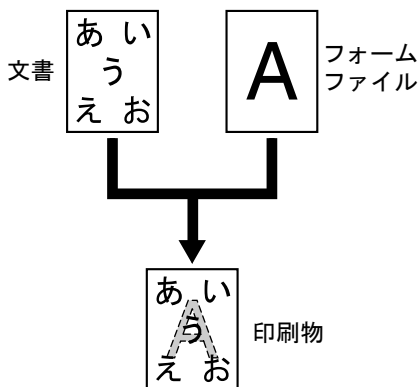
印刷する文書に「親展」などのテキストを入れて印刷します。
「スタンプ」チェックボックスにチェックすると、［編集］ボタンが有効になります。
［編集］をクリックすると、スタンプの作成・編集画面が表示されます。
スタンプの作成・編集画面で［追加］をクリックすると、新たにスタンプを作成できます。

作成したスタンプは「スタンプ／フォーム」タブおよびスタンプ作成・編集画面のリストに表示されます。
リストに追加したスタンプを編集する場合は、スタンプの作成・編集画面で、編集したいスタンプを選択し、編集します。
リストに追加したスタンプを削除する場合は、スタンプの作成・編集画面で、削除したいスタンプを選択し、［削除］をクリックします。

■ 透過
「透過」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を透過（網点）で印刷します。

■ 1 ページ目のみ
「1 ページ目のみ」チェックボックスにチェックすると、スタンプの文字を 1 ページ目にのみ印刷します。

■ 繰り返し
「繰り返し」チェックボックスにチェックすると、1 ページ内にスタンプの文字を繰り返し印刷します。

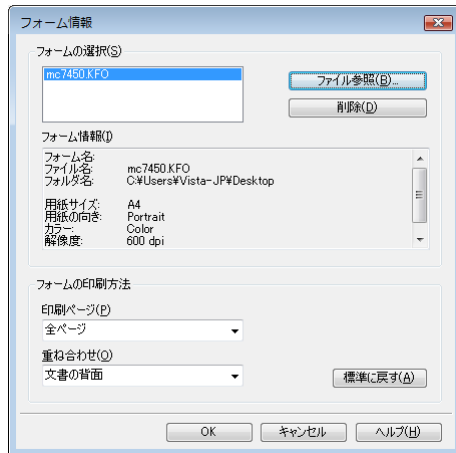
2. フォーム作成

「フォーム作成」チェックボックスをチェックして印刷すると、フォームファイル（拡張子：KFO）が作成されます。作成したフォームファイルは、「スタンプ／フォーム」タブのリストに追加されます。

3. フォーム印刷

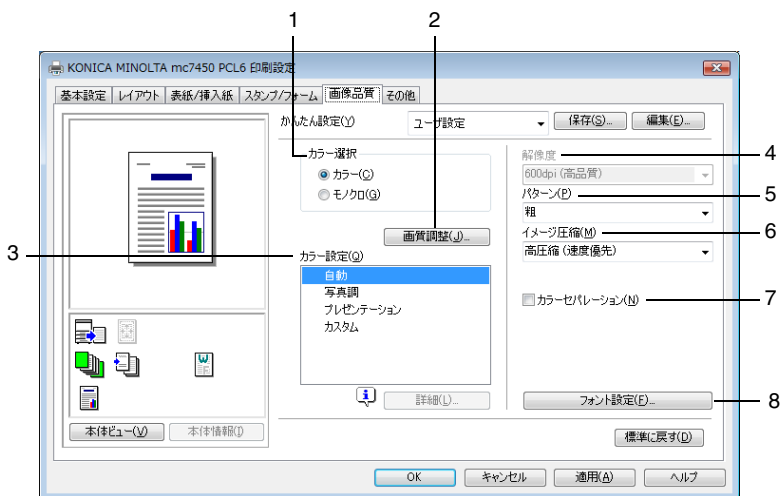
印刷する文書に他の画像ファイルなどのイメージを取り込んで印刷します。

必ず用紙サイズと原稿の向きがフォームに合っているプリントジョブに対して使用してください。
また、「レイアウト」タブの「ページ割付」で複数ページの文書を 1 ページに印刷するように設定した場合、フォームは設定にあわせて調整されませんので、ご注意ください。

4. フォーム情報

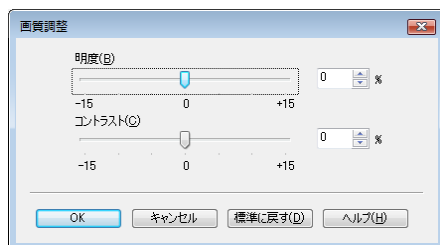
［フォーム情報］をクリックすると、フォーム情報画面が表示され、登録されているフォームの情報を確認できます。

また、［ファイル参照］をクリックして表示されるフォームファイルの参照画面でフォームファイルを選択してリストに追加することもできます。

リストからフォームファイルを削除する場合は、リスト内の削除したいフォームファイルを選択し、［削除］をクリックします。
また、フォームの印刷方法を設定します。フォームを印刷するページを「全ページ」、「最初のページ」、「偶数ページ」、「奇数ページ」から選択して設定します。
フォームと印刷文書の重ね合わせ方を「文書の背面」、「文書の前面（上書き）」から選択して設定します。

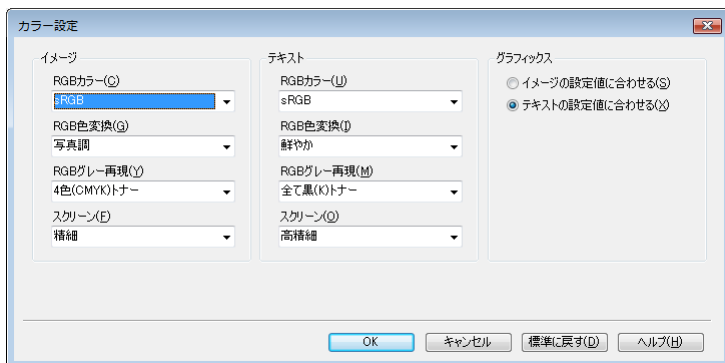
「画像品質」タブ

1. カラー選択

カラーで印刷するかモノクロで印刷するかを設定します。

2. 画質調整

［画質調整］をクリックすると、画質調整画面が表示されます。印刷する画像の明るさ（明度）、コントラストを設定します。

3. カラー設定

プリンタのカラー設定を「自動」、「写真調」、「プレゼンテーション」、「カスタム」から選択して設定します。
「写真調」は、写真画像に適した設定です。
「プレゼンテーション」は、テキストや、グラフの多い文書に適した設定です。

「カスタム」を選択すると、[詳細]ボタンが有効になります。[詳細]をクリックして表示される、カラー設定画面での設定内容に従ってカラー設定を行います。

カラー設定画面では、各オブジェクト(イメージ、テキスト、グラフィックス)のカラー再現についての設定ができます。

■ RGB カラー
イメージ/テキスト/グラフィックスオブジェクトの色空間に関して指定します。プリンタが使用する入力 RGB の色空間を指定します。

■ RGB 色変換
イメージ/テキスト/グラフィックスオブジェクトの色変換処理に関して指定します。
プリンタで処理する入力 RGB からデバイス CMYK への色変換特性を指定します。

■ RGB グレー再現
プリンタで処理するイメージ/テキスト/グラフィックスオブジェクトのグレーの再現に関して指定します。

■ スクリーン
イメージ/テキスト/グラフィックスオブジェクトのスクリーン処理に関して指定します。

4. 解像度
解像度 600dpi、4bit 多値のスクリーンで印刷します。本プリンタでは設定変更できません。

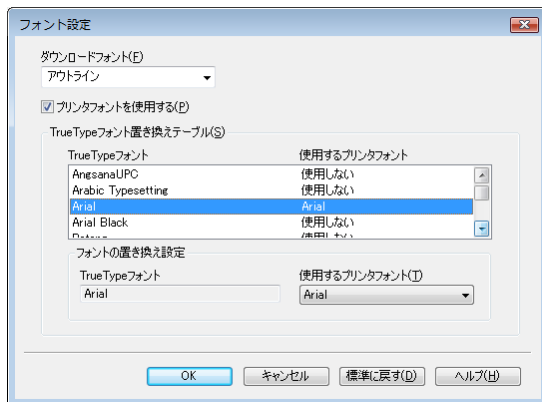
5. パターン
パターンの密度を、「密」、「粗」から選択して設定します。

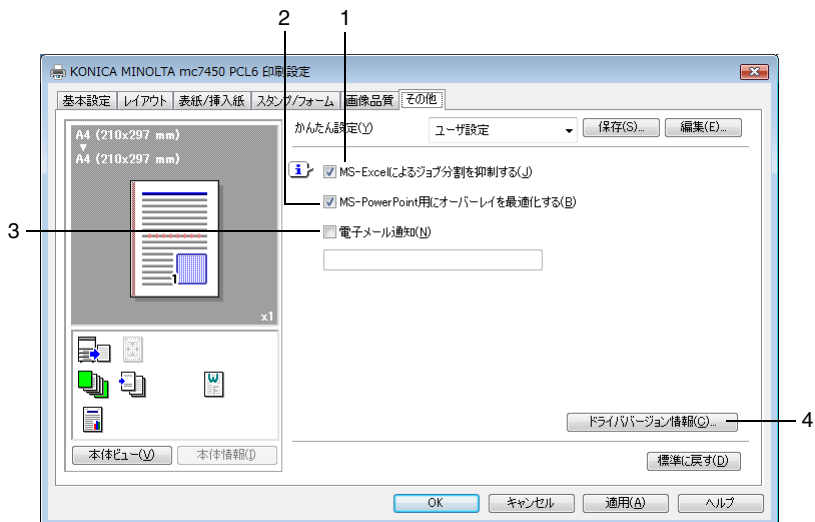
6. イメージ圧縮
イメージの圧縮方法を、「高圧縮(速度優先)」、「標準(品質優先)」から選択して設定します。

7. カラーセパレーション

CMYK ごとに分割して印刷するかどうかを設定します。
「カラーセパレーション」チェックボックスにチェックすると、CMYK ごとに色分解し、それぞれをモノクロで印刷します。

8. フォント設定

フォントについての設定をします。
［フォント設定］をクリックすると、フォント設定画面が表示されます。

フォント設定画面では、True Type フォントをダウンロードする方法、印刷時に True Type フォントをプリンタフォントに置き換えるかどうか、True Type フォントをプリンタフォントに置き換える場合、どのプリンタフォントを使用するかを設定します。

「その他」タブ

1. MS-Excel によるジョブ分割を抑制する

MS-Excel で印刷設定の異なる複数のシートを同時に印刷しようとする場合に、シートごとに別々のドキュメントに分割して印刷されるのを抑制するかどうかを設定します。

2. MS-PowerPoint 用にオーバーレイを最適化する

背景が「白」の PowerPoint 原稿に、プリンタドライバのオーバーレイ機能を指定して印刷する場合に、PowerPoint 原稿の「白」でオーバーレイ画像が上書きされないように設定します。

3. 電子メール通知

「電子メール通知」チェックボックスをチェックし、送信先のアドレスを設定すると、印刷終了時に印刷が正常に完了したことを電子メールで通知します。

4. ドライババージョン情報

［ドライババージョン情報］をクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を確認できます。

ポイント アンド プリントでインストールされたプリンタドライバの機能制限

以下のサーバとクライアントの組み合わせでポイント アンド プリントを実行した場合、プリンタドライバで持つ機能が一部制限されます。

- サーバとクライアントの組み合わせ
  サーバ　　　：Windows XP/Server 2003/2000
  クライアント：Windows NT 4.0
- 制限される機能
  「小冊子」、「白紙抑制」、「おもて表紙」、「うら表紙」、「区切りページ」、「フォーム作成」、フォームの印刷、「スタンプ」
  ※ PJL の ジョブ名、ユーザ名、ホスト名の 出力

この組み合わせで使用する場合は、クライアントにプリンタドライバをローカルでインストールし、接続先としてサーバにインストールされている共有プリンタを指定してください。

Windows Vista の環境では、ポイント アンド プリントには対応しておりません。